



今日揚げる大空凧について

凧の骨

かつて高須の凧の会のみなさんが揚げていた大凧をお預かりして修復しました。当時使われていた竹の9.5割がそのまま残っています。

凧の大きさ

八畳凧とお聞きし修復を進めていたところ、より大きい十二畳くらいのサイズであることが判明しました。実際のサイズは約5040×3700mmです。重量は測る方法がなく不明ですが、大凧、揚がりますように！

凧の紙

高須の田んぼから藁（わら）を譲っていただき、それらを煮て叩き楮（こうぞ）と混ぜて漉きました。約5.5kgの藁から約300枚の紙ができました。今回の大凧には、287枚の紙が使われています。



凧に使われている色

高須からいただいた植物を中心に色を抽出し、紙に塗布して着色しました。着色がないところは藁でつくった和紙の地色です。凧揚げ後、和紙の様子もぜひ近くでご覧ください。



ぜひ感想&撮影した写真をお寄せください！

メール：tap-info@toride-ap.gr.jp

アンケートにも
ご協力をお願いします！



また当日の様子をSNSにて「#高須で空あそび」でぜひぜひ！発信ください。

*TAPのアカウントでシェアさせていただくことがあります。

出演者・制作者・協力者紹介

野外公演「大空あそび」出演：舞踏団トンデ空静 / かつしか動物公園

大空凧実現

- ・凧制作：宮寺 雷太〔藁紙〕 / 寺田 健太郎〔凧の構造〕 / 岡 博美〔顔料〕
- ・制作指導：寺田敏明 / 中山典夫
- ・制作アシスタント：吉中媛香
- ・かわら版編集：幅谷真理
- ・実施協力：高須地域のみなさん、高須地区長会、社会福祉法人身障者ポニーの会、高須長田地区、東京藝術大学藝大ファクトリーラボ、東京藝術大学油画専攻、愛知県立芸術大学油画専攻、月出工舎、TAPサポートスタッフ
- ・運営協力：ひだまりのまちプロジェクト
- ・プロジェクト統括：岩間 賢
- ・運営・コーディネート：倉持美冴、幅谷真理、羽原康恵（取手アートプロジェクト）

本プロジェクトには高須地域内外の多くの方にお力添えいただきました。ご協力を感謝申し上げます。

